

2021年度 メリー★ポピンズ 志木駅前ルーム 事業計画書

1 基本方針

保育理念「にんげん力。育てます」

保育目標「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

法人の保育方針に基づき、保育園、地域、保護者が相互にかかわりながら協同し、地域に根ざした保育園を目指します。

どろんこ会の基本保育や保育園を取り巻く環境を活かした体験活動を通し、「どろんこ会が育てる6つの力」～兄弟姉妹が生活・遊び・労働を教えあう～力を育てます。

【園の目標】

- 地域、保護者、保育園が輪となり子どもを見守り、地域の資源として活かされる保育園
- 園庭がなくても自然体験・小さくても大家族・チームで見守り大人が手本となる保育
- 人と人との関りを大切にし、心豊かで意欲のある子ども
- 自ら挨拶ができるようになり、自己表現が自信をもってできる子

【どろんこ会が育てる6つの力】

- ① ケガをしない強い体を育てる。
- ② 自分でできることは自分でする。
- ③ すべての人との関わりから判断・行動を身につける。
- ④ 活動を選択し、自分で考えて行動する。
- ⑤ 生死を知る。食の循環を知る。
- ⑥ 感じたこと・考えたことを表現する。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

地域、保護者に選ばれる保育園を目指し、保育の質を高め保護者から信頼される職員を育成します。

- 本物に触れ、実体験を通して自分で考え、解決できる力を育む保育。
- 日々の生活が保育所保育指針（保育の内容）を配慮した計画を立てる。
- 子ども自らが主体的に考え、行動出来る環境を用意する。
- 大家族で過ごすことを常とし近隣園、保護者との連携を図る。
- 生きる力の基礎を学び、小学校以上の教育につなげていく。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

全職員が保護者の気持ちに寄り添い誠実さ、謙虚さを基に全力で役割を果たします。

- 家庭と保育園の連携を密にし、保護者との信頼関係を築き子どもの発達や様子をわかり易く伝える。(クラス便り、タイムライン、アルバムを活用)
- 子育てや就労等の個々の事情に配慮し、子どものための最善の利益を考えていく
- 年2回の保護者会を保護者同士が親しく交流できる場にする
- 毎日子どもの体調や感染症等を保護者と確認し合い、体調の維持管理を協力して行う
- お迎え時に子どもの成長や学びを伝え、喜びを共有する
- 保育参加の促しと個人面談
- 環境改善計画や保護者参加行事を保護者と共に実施し、子育てにつなげる
- 保護者への情報発信を行い子育て支援につなげる
- 園生活のドキュメンテーションを共有する

〈3〉 地域の子育て支援事業

子育て家庭の子どもたちも健やかに育つために、各関係機関と連携して地域に開かれた子育て支援を実施します。

- 地域育児相談(随時)
- 次世代育成支援(随時 実習生・中高生職場体験・ボランティアの受け入れ)
- 青空保育(月1回、紙芝居・絵本読み聞かせ等)の充実
- 園開放による保育園と地域の共育
- 寺親屋(年4回)、自然食堂(月2回)、自然学校もしくは芸術学校(月1回)を定期的に開催し、保育園生活を知ることによって子どもの育ちを共有する

〈4〉 次世代を担う職員育成

一人ひとりが業務に関わる目標設定を作り、定期的な振り返り、見直しを行い園全体の保育の質を高めていきます。また、目標設定の達成度を園全体に周知し、取り組むことでリーダー育成につなげます。

小学校以上の教育とのスムーズな接続を目指し「3つの柱」「10の姿」を育む力を養う園内研修やドキュメンテーションを作成し、職員、保護者に共有します。

- 園内研修によるコミュニケーション力に向上と学び合い(保育所保育指針・エピソード記録)
- 連携園との園内研修の実施
- 保育スキル講座参加
- 職員間のコミュニケーションを高めて、世代間のある職員同士でもチームとして教え合い、言葉を掛け合って協働していくことができる運営に努め、職場環境を整える。また、リーダーとなるための職員育成を行う
- 職員が課題を提案し職員が学び合いの園内研修として進めていく仕組みを作る(リーダーとしての役割を学ぶ)また、得意とする分野を園内研修から外部へ広げていかれる力を養う。
- 保育品質マニュアル、保育運営マニュアルの周知と活用

〈5〉 安全、信頼、保育の質を併せ持ち選ばれる保育園

- 清潔で整理整頓を徹底し安全管理に努める
- 保護者が安心できる送り出しと出迎えに配慮する
- 保育の質を高める職員研修
- 子どもの生きる力を育てる保育内容の検討
- 保護者の立場に立った保護者支援と子どもの育ちの共有支援

〈6〉 保育園を取り巻く環境を活かし、活動の拠点を戸外にし、異年齢でより多くの体験活動を行う

- 1日2回の戸外活動を日課とし、朝は9時出発で、自然の中に出かけて行き、歩き、遊び、自然に触れ、たくさん遊んでたくさん食べて、たくさん寝る。
- 長距離を歩ききる心と体を作る
- 土、水、火、焚き火に触れる機会を作り自然の豊かさを知り、経験につなげる
- 言葉、歌、製作、身体的表現など自らの気持ちやイメージを膨らませるよう子ども自身の表現する力を認める
- 本物に触れ、見て、感じる体験活動
- 自分で選んで自己決定できる環境を作る
- 地域社会とのかかわりの中で社会性を育む
- 戸外でもできる活動は戸外で行い、地域の方々にもどろんこ会の保育を知ってもらう。
- 保育者は子どもたちが試行錯誤しながら創意工夫をして毎日を楽しめる協力者となる
- 生活の流れを子どもたちで気づき行動する力を育む
- 異年齢で過ごすことでお互いを知り、助け合い、思い合う心の豊かさを育む

〈7〉 日本や世界に目を向け食の文化や地域の特性を子ども考えた自ら考え、提案し記録に残し保護者に伝える。

- 地域の特徴や四季の移り変わりに気づき記録に残す
- 日本や世界の料理を知り、食育地図をもとに地域の特性を考える。

2 児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
3人	6人	6人	6人	6人	6人	33人

3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

4 職員配置

常勤職員	8人	保育士	7人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	-人
パート職員	5人	保育士	3人	補助	1人	事務	1人	調理	-人
		用務	-人						
嘱託職員	-人	嘱託医	2人	言語聴覚士	-人	臨床心理士	-人		

5 運営方針

〈1〉 運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回 120分	保育運営について・園内研修
給食運営会議	月1回	喫食状況・食育活動・個別対応について
ケース会議	月1回	要支援児についての共有・検討
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・他園の事故記録の検討
リーダー会議	月1回	各リーダーによる報告・相談・検討
保育擦り合わせ会議	毎週1回	翌週の保育の共有・確認

-2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	法人内の運営方針共有
施設長勉強会	月1回	施設長研修
食育会議	年4回	施設長、調理員が参加し食育方針の共有と検討
保健会議	年4回	保健活動の取り組み・感染症対策等の共有と検討

〈2〉 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の衛生管理や備品の管理・衛生点検・清掃確認・感染症発生時の対応・検便
安全対策係	避難訓練の実施や安全な環境整備・事故防止点検・設備点検・事故防止委員会の開催
防火管理者	消防計画の作成・避難訓練計画の立案・設備の防火管理
食品衛生責任者	食品の衛生管理・調理室の衛生管理・給食会議の開催
畑係・生き物係	畑の管理・作物の植え付け、収穫の確認・飼育全般の管理
写真係	個人情報の確認・写真販売

〈3〉 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
地域担当	ちきんえっぐの開催・商店街ツアーに関する調整と実施確認
世代間交流係	老人施設との交渉

6 保育方針

〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期 0~2歳児	<ul style="list-style-type: none">● 情緒が安定され、好きな遊びを十分にできるよう環境を整える。● 遊ぶ、食べる、寝る、の基本的な生活習慣を身につけ、遊びや生活を通して、けがをしない体の基礎を養う● 歩行や言葉の獲得が得られ、遊びや生活の中で育まれる環境を作る
	下半期 0~1歳児	<ul style="list-style-type: none">● 遊びを通じて心身ともに意欲と満足感が持てる環境を保証する。● 周囲への興味関心を受け止め、体を十分に動かしながら丁寧に関わる。
幼児保育	上半期 3~5歳児	<ul style="list-style-type: none">● 異年齢保育の中で自分の好きなこと、好きな場所で遊び込める環境を整える。● 基本的な生活習慣の確立に向け、個々の発達状況に応じて丁寧に関わる。● 興味関心をもったことを主体的に探究し発見や気づきを楽しむ。
	下半期 2~5歳児	<ul style="list-style-type: none">● 習熟度別やグループ活動を多くし、課題解決を行い、相手の気持ちが理解しながら多くの異年齢の友だちと関わる。● 異年齢での活動を通じて自分の成長を感じながら、進級することに喜びを感じられるような関わりを心がける。● 様々な体験や経験を重ね、リズム体操、音楽、身体表現、絵画、製作、言葉など様々な表現で豊かな心と体を育てる
保育参加	4~3月	<ul style="list-style-type: none">● 希望する保護者が参加/保育参加アンケートにご記入いただく
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none">● 随時、希望する保護者に対し実施● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望 への対応	随時	<ul style="list-style-type: none">● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」の活用
運営委員会	年2回	<ul style="list-style-type: none">● 6月と11月に実施予定

〈2〉 年間行事計画

- 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営方針

【食育の指針】

食欲のある子は意欲のある子。自分から食べることを楽しみ、食を通して10の姿を育てる

○たくさん遊んで（お腹をへらして）、たくさん食べて、たくさん寝る

○子どもの発達を捉え、自ら食べたいという意欲を育て（取り込む、噛んでつぶす、飲み込む、自分の意志で動かす）みんなで一緒に食べる環境を用意する

- 伝統食、郷土料理など自ら調べクッキングに取り入れ、食の文化や地域を知る。
- 乳児も幼児も好きな場所、好きな友達と、食べたいものを自分で選び、大人も一緒に食べて楽しさを感じる。
- 四季折々の中で収穫した野菜や季節の行事等と絡めながら園内クッキングを行い食べることの楽しさを知る

〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回(6月・11月)
歯科検診	年1回(6月)
保健だより	月1回(25日)発行
職員健康診断	年1回
職員検便	全職員月1回(5日)
園児への保健指導・取組等	手洗い、うがい、給水、発汗処理、歯磨き、トイレ指導、自分の体を知る等の指導。早寝早起き朝ごはんの大切さを知る。
流行が予測される感染症	通年...新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。 手足口病...6月から9月頃 インフルエンザ...11月から2月頃 感染性胃腸炎...12月~2月頃
発作・痙攣等の対応のための薬の預り	タッグアップ...必要に応じて預かる/冷蔵庫にて保管 アルジオ...1名より預かり済み/事務所に保管
パソコン使用できる職員	現在7名が、研修受講し、習得済み。未受講の新入職員2名については4月30日までに受講予定。
AED使用できる職員 (AED設置施設のみ)	AED設置なし。ただし救命救急講習において現在7名が、習得済み。
その他保健に関する取組	性教育・歯磨き指導 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回/5・7・9・11・3月の25日
	事故防止チェック	年4回/4・7・10・1月の25日
	防災自主点検(備蓄品点検含む)	年2回/6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回/15日
	不審者侵入訓練	年2回/6・11月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回/5・11月
衛生管理	衛生管理点検表/毎日	毎日
	衛生管理点検表/毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表/毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿/毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回/5日/全職員

健康管理	予防接種状況・既往歴の確認/保険 証期限確認	年2回/4・10月
	身長体重測定	毎月1回/20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	年2回/6・11月の30日頃(東京都0歳児のみ 年12回実施)
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回/4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回/園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉 環境整備

環境にかかわりながら自分で考え、主体的に活動できる環境を作る。

幼児も乳児も戸外活動を十分に行う。

衛生的な生活環境を作る。

乳児 ○手の届く範囲に、安全な玩具で素材や感触の異なる玩具で様々な感覚が養われるものを配置する。

○探索活動など興味を持った行動に対し「危ないから駄目・汚れるから駄目」と制限せず、発達に応じた様々な対処や工夫を試みることができる人的環境になる。

1歳以上 ○子どもたちが獲得した力を思う存分発揮できたり力をさらに伸ばしたりすることができる室内環境や散歩先を設定する。

幼児 ○外遊びでは十分に自然に触れ合う環境に出かける。また動植物などが身近にあり、命の大切さや不思議さを体感できる環境作りを行う。

○遊びを通して文字や科学、数に触れる環境を作る

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- ① 避難消火訓練(火災・地震・水害・通報等、毎月)
- ② 警察官立ち合いによる防犯訓練(年1回)
- ③ 消防設備点検(年2回)
- ④ マニュアルNo.3 危機管理マニュアル設置
- ⑤ 施設の事故防止自主点検、設備点検
- ⑥ 事故防止委員会(月1回)ヒヤリハット・インシデントの検討、事故記録簿の作成
- ⑦ 救命救急講習会参加
- ⑧ 午睡時「生存確認表」記録
- ⑨ 不審者侵入訓練(年2回)
- ⑩ 与薬ルール運用
- ⑪ 光化学スモッグ・自然災害の自治体との情報共有

8 実習生・中高生の受入

保育の実習生、中高生の体験学習、ボランティアや職場体験の方を積極的に受け入れます。

9 職員育成と研修計画

- 園内外の研修を活用しながら法人の目標となる保育を理解し実践できる職員育成を目指す。
- 職員自らも学びの機会を発信し、共に学び合うことでチーム保育につなげる。
- 一人ひとりが業務の役割分担をもち、リーダーとしての役割を果たし、法人の次世代を担う人材育成に努める。
- 近隣園合同園内研修における職員交流から、自園の課題に取り組む
- チーム保育ができる組織を作る

新人研修

新人社員研修

スタッフ研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修
- 新人社員研修
→ 会場研修
→ 系列園保育実地研修

保育スキル研修



←お迎え
対応研修



←避難訓練研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月16日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保護者を理解する	保護者の気持ちになって考える
5月21日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育計画の立案	ねらいと子どもの姿について保育計画を考える
6月18日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 合同研修	他園との合同研修において自園の課題に気づき解決につなげる
7月16日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保護者が感動するとき	具体的な取り組み
8月20日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 表現活動の取り組み	発達に合わせた具体的な取り組み発表
9月17日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 合同研修	他園との合同研修において自園の課題に気づき解決につなげる
10月22日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの姿の共有	ポートフォリオの共有から子どもを知る
11月19日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの姿の共有	ポートフォリオの共有から子どもを知る

12月17日（金）	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 合同研修	他園との合同研修において自園の課題に気づき解決につなげる
1月21日（金）	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 1年の振り返り	振り返りと共に次年度につなげる
2月18日（金）	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議①	次年度の目標
3月8日（日）	13:00～18:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議②	次年度の計画作成

② 2021年度子育てスキル研修計画(エリア共通計画)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分予算
5/28（金）	18:30-20:00	水の事故	仲町どろんこ	0円	0円
7/23（金）	18:30-20:00	さくらさくらんぼリズム①	ふじみ野どろんこ	0円	0円
9/22（水）	18:30-20:00	性教育	朝霞どろんこ	0円	0円
9/28（火）	18:00-19:00	「子どもの認めてほしいという気持ちを満たす」～ふれあい遊び～	kids 朝霞ルーム	0円	0円
11/20（土）	10:00-11:00	感染症と歯科について知ろう	志木どろんこ	0円	0円
11/27（土）	10:00-11:30	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続～1年生のスタートカリキュラム～	志木駅前ルーム	0円	0円
1/21（金）	18:30-20:00	さくらさくらんぼリズム②	朝霞どろんこ	0円	0円

③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（保育の質会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。正職員およびパート・アルバイトを含めた12名の職員が出席予定											
リーダー養成研修	選ばれた職員が参加予定											
デモンストレーション	希望する職員が応募											

⑤ 職員個人別育成計画

施設長が年2回（5月16～24日と11月1日～12月9日）実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次半期の目標設定と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。

10 地域交流計画

地域に開かれた保育園を目指すべく、高齢者、小学校、近隣の保育園との交流を行います。
具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：直路交通公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	高齢者施設への訪問、敬老の日を祝う会開催、読み聞かせボランティア受け入れ等
異年齢交流	小学校や近隣施設の訪問、子育て家庭との交流
地域拠点活動	園開放、子育てサロン
銭湯でお風呂の日	月1回 〈5歳児〉

11 小学校との連携の計画

以下の計画について、小学校と相談・協議を4月末頃より開始します。前年度同様に志木小学校を中心に連携を進めて行き、他校とも交渉し連携可能な小学校を増やしたいと考えています。志木小学校の畑を借用しているため、更に連携を深めていきます。

- ・幼保小連携協議会（県、市）研修に参加し保育園と小学校が子どもの育ちを共有する。
- ・自園の入学前の子どもの生活を知っていただくため、小学校、近隣幼保園へ公開保育を可能にできるよう発信をしていく

日程	学校名・クラス名	参加人数	計画したい活動名（会場）	内容
5月頃	志木小学校	18名	校舎・行程	見学
10月頃	志木小学校	18名	運動会見学	見学
10月頃	志木小学校	6名	ふれあい祭り	子ども間交流
10月頃	志木小学校	12名	授業参観	見学
12月頃	志木小学校	18名	しきっ子まつり	子ども間交流
1月頃	志木小学校	6名	授業参観	見学
2月頃	幼保小連携生活発表会		授業参観、情報交換	職員研修
2月頃	志木小学校1年生	6名	生活科発表会（昔遊び）	子ども間交流

12 要支援児計画

該当園児が在籍した場合、以下の通りに実施します。

【個別支援計画の作成・見直し】

- ・個別の支援計画を作成し、会議ごとに変容や支援内容について協議し、見直しを図る。

【毎月のケース会議開催】 4～3月に計12回開催予定 参加者：3名予定

- ・保護者面談を実施し、共通理解を深め、保育にあたっていきます。

【進級引継、および、小学校への引継】

- ・クラス担当を中心に全職員会議を開催し、安心して移行出来るようにします。
- ・就学に向けては、小学校児童支援専任教諭との面談を実施し、要録を提出します。
- ・保護者の方へは必要に応じて随時面談を行います。

13 子育て支援事業。

園開放	(月)～(土) 9:30～11:00
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂...親子ランチ交流	第2週(火) 10:00～11:30
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	第4週(火) 9:00～11:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～19:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名:直路交通公園にて開催
保健だより	毎月1日発行
食育だより	毎月1日発行
園だより	毎月1日発行

14 福祉サービス第三者評価の受審

埼玉県受審予定なし

15 園による自己評価の実施

2021年10月1日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定です。

自己評価開始予定時刻:9時00分

自己評価終了予定時刻:12時00分

自己評価実施予定者:園長、主任、職員

16 メリー★ポピンス志木駅前ルーム保育園3か年計画の具体化

2021年

- 幼児教育を行う施設として、生きる力の基礎になる「資質・能力の3つの柱」を育み、自己肯定感や感情を調整する力、粘り強さなどの非認知能力が高まった子どもたちに自信をもって小学校へ送り出すようにします。
- 法人のリーダー的職員として役割を果たす職員育成の流れが出来るようにします。
- 保育者自身が最も大切な人的環境であることを認識し、的確に子どもの発達を捉えながら「遊び」が「学び」につながる支援を行い、保護者と保育士が協働して地域に根ざした保育園となります(保護者参加行事の共育ち)。

2022年

- 異年齢保育・インクルーシブルな保育を定着させ、大きな家・地域・保護者とのつながりを深めます。
- 小学校との連携・結びつきができ、職員間での育ちの理解が深まり、地域で育てあう保育園となります。
- 公開保育で法人の学び合いの場として活用できる園となります。

2023年

- 駅前で少人数の保育園でも、異年齢で過ごす生活が日常化し、大家族で育ち合う保育園となります。
- 子育て支援事業の参加者が増え、保育園に通わない子も、保育園が生活の一部として利用され、地域を巻き込んだ共育ちの大家族となります。
- 地域の子育て拠点としての役割を果たし、職員も子どもも主体的に活動できる保育園となります。

以上

作成日：2021年2月1日 作成者：メリーポピンズ志木駅前ルーム 施設長 古賀 文子